

2025年度

【学校推薦型選抜〈併願型〉(2日目)】

【学校推薦型選抜〈専願型〉】

【学校推薦型選抜〈指定校型〉薬学】

基礎素養検査

2 限 目

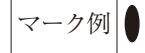
注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 不正行為を行った場合は、本学の選抜日程全ての成績を無効とします。
3. 問題冊子は1部、解答用紙は2枚です。なお、解答用紙は、「国語」用の『解答用紙①』と「理科」用の『解答用紙②』の2種類があります。解答用紙は、試験終了後に2枚とも提出いただきますので、2枚ともに受験番号欄に記入およびマークしてください。
4. 出題科目、ページおよび選択方法は、下表のとおりです。

出題科目		ページ	選択方法
理科※	物理基礎	1 ～ 4	解答科目は、選択できる科目を受験票で確認のうえ、選択してください。
	化学基礎	5 ～ 9	
	生物基礎	11 ～ 15	
国語		国語 1 ～ 国語12（うしろから始まります）	

※理科については、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目選択し、解答してください。解答する科目の順番は問いません。解答時間（60分）の配分は自由です。

5. 解答は全てマークセンス方式です。マークは黒鉛筆（シャープペンシル可）で右の例のように正しくマークしてください。



6. 解答用紙には解答欄のほかに次の記入欄があります。

(1) 受験番号欄

『解答用紙①』および『解答用紙②』の2枚ともに、受験番号を受験番号欄の上欄に算用数字で記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。

(2) 解答科目選択欄

①「国語」を解答される方

『解答用紙①』の解答科目選択欄について、「解答をする」のマーク欄にマークするとともに、解答する科目を○で囲み、さらにその下のマーク欄にマークしてください。

②「理科」を解答される方

『解答用紙②』の解答科目選択欄について、「解答をする」のマーク欄にマークするとともに、解答する科目(2科目)を○で囲み、さらにその下のマーク欄にマークしてください。

※受験番号および解答した科目が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

7. 記入したマークを訂正する場合は、プラスチック製消しゴムで完全に消し、改めてマークしてください（消しくずを残さないこと）。
8. 解答用紙は折り曲げたり、汚したりしてはいけません。
9. 解答用紙の※印欄はマークしてはいけません。
10. 問題冊子と解答用紙にページの落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所や汚れなどがある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
11. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

(解答番号)

(1)

()

(46)

()

スマートフォンのカメラ機能を利用した「selfie（＝自撮り）」は、今日では、すっかり日常的な写真行為となった。自撮りとは、手持ちのデジタルカメラやカメラ付き携帯電話で撮影したセルフポートレート、ならびにその行為をいう。自撮りは、アマチュアの手軽な日常の写真行為の一つであり、記録あるいは記憶の代理として行われる写真実践の一形態である。

また同辞典によれば、語としての「selfie」は、2002年9月13日にオーストラリアのチャットルームにおいて最初に登場したとされている。

I
といえるだろう。

自撮りが、家族アルバムに収集されるそれまでの記念写真と異なる点は、その多くがインスタグラムやフェイスブックなどのいわゆるソーシャルメディア

アに公開することを目的に撮られていることだ。

B

、自撮りは個人的な写真行為と言うよりも、むしろ社会的な写真行為なのであり、コミュニケーション活動に主眼を置いた写真実践なのである。

C

、その行為を可能としたのは、インターネットやデジタル写真の大規模な普及であることは言うまでもない。インターネット時代の写真行為は、記念や記録のためというよりも、むしろ誰かに見せて、「いいね！」の承認を得るためにあるのだ。

D

、自撮りには、不特定多数の閲覧者に対して「私をみてくれ」と語りかけ、「私の生活にはこんな側面もある」と仄めかす表現が数多くあらわれる。ソーシャルメディアの中の自撮りには、自宅やホテルのバスルームの鏡に向かって胸をはだけた挑発的なものもたくさんアップされている。こうした自撮りは、まるでピンナップガールのように閲覧する者の窃視的な欲望に自ら進んで応えているかのようだ。他者の閲覧が想定されているからこそ、自撮りには自己顕示欲にあふれた写真がサンケンされるのである。

しかしながら、自撮りは自己愛的な表現のように思われるものの、その関心は必ずしも自分自身にだけ向けられるものではない。自撮りの動機を支えているのは、ネットワークの中で

II

社会関係を結びたいというコミュニケーションへの欲求である。それは生身の身体を晒すリアルな経験としてではなく、イメージを媒介とした間接的かつ視覚偏重の関係構築が求められているのだ。

ユニークな写真行為である自撮りには、「受容されるイメージ」を先取りして表現しようとする傾向が顕著にあらわれる。つまり、あらかじめ他者が「見たいと思われる画像」へと修正を施し、「完璧なイメージ」に仕上げて呈示しようとするのである。要するに自撮りの画像は、あるがままの姿ではなく、閲覧者がそうあって欲しいというイメージを先取りして、それに合わせて図説的に表現する行為だと言うことができる。

他者による閲覧を前提とした自撮りの独特な舞いは、自撮りの画像の定型化を促す要因にもなっている。画像をアップする者は、「いいね！」など、その価値に見合った賛辞を得たいがために、賞賛されやすい画像、あるいはすでに賞賛されている画像を模倣しようとする。すでに賞賛されている画像とは、よくできた「既知のイメージ」のことだ。その代表はと言えば、たとえば、どこかで見たことのあるイメージ（アイドル、女優、モデル）、あるいは美しい広告写真のイメージである。

こうしたことから、自撮りが、秘匿的な個人の回想、記録であるとは単純に言い切れない。行為において個人的であるが、動機においては社会的なのである。それはインターネットを通じて他者に見せること／見られることを想定した行為であり、承認を求めるコミュニケーション行為と理解すべきだろう。私たちは自撮りの写真をソーシャルメディアにアップすることで、理想的な類似像を提示して、共通の話題としているのである。

このことは、「インスタ映え」の流行語を生んだインスタグラムの画像に関しても著しい特徴となつてあらわれている。たとえばユーザーは、高級なフレンチレストランの料理の写真を撮ったり、リゾートホテルの洒落たインテリアを背景にしてポートレイトを撮ったりする。以前なら、そうしたスナッ

写真は、アマチュアの撮影したものとプロの撮影した雑誌写真や広告写真とは、明らかに違った⁴テイストで表現されていた。前者は、出来事としてのリアリティが重視され、後者は理想としてのファンタジーが重視されている。しかし、インスタグラムにアップされた料理写真やポートレートには、広告写真と見間違ふようなものが無数にあるのだ。アプリの画面を開けば、雑誌広告で見たような整った写真が連続し、オシャレな雰囲気醸し出している。しかも、奇妙なほど、どれも Ⅲ ようなよく似たテイストに仕上がっているのだ。

⁵ インスタグラムにアップされる写真は、出来事を記録するというよりも、むしろ出来事を「デザイン」した演出写真である。

E 、レスト

ランのテーブルの上に気に入らないものが映り込む時はそれを排除したり、皿を並べ直したりして、「レイアウト」を変えることが積極的に行われる。

なかには、料理をより魅力的に見せるために⁶自前のランチョンマットを持参したりするインスタグラマーもいる。若い女性の間で流行した「ナイトプール」では、インスタ映えの写真を撮るために、わざわざ貝やスイカの形をした浮き輪を撮影の小道具として持参したりする Ⅳ もいる。そし

て、最後の仕上げとして、アプリで画像加工を施して、平凡なイメージを「特別な日常」へ、広告写真のような「完璧なイメージ」へと変容させるのである。メディア理論家のレフ・マノビッチは、インスタグラムの写真には、明らかに他の写真とは異なる「視覚的美学」があると指摘している。「インスタグラムによって加工された写真は、単なるコンテンツではなく、技術、スタイル、視覚的な選択を通じてコミュニケーションするために作成されたビジュアルイメージである」(マノヴィッチ 2018: 49)と彼は述べている。

確かに、インスタグラムの美しい光景の表現には、自撮りと同じような自己表現への欲求を垣間^{かいま}見ることができる。インスタグラムの写真実践では、ユーザーは光景の観察者ではなく、光景を理想化して作りだす表現者なのである。

インスタグラムはまた郷愁を偽装することも得意だ。そもそも写真は、物質として表象する限りにおいて、その支持体の劣化が時間経過の

V

として理解されている。過ぎてしまった時刻に私たちは戻ることができないが、支持体の劣化や画像の退色は、経過した時間を表徴する。だからアプリで、セピア色に変色させたり、白っぽく退色させたりすれば、途端に画像にはノスタルジックな雰囲気醸し出されるのだ。このようにしてユーザーは雑誌やウェブで見たことのあるような「よく出来たイメージ」、すなわち「インスタ映え」を完成させる。

既知のイメージに現実の風景を重ね合わせようとするインスタグラムの写真には、スナップショットのように出来事に立ち会わせる記録性は重要ではない。それは「決定的瞬間」ではなく、自らが創造した「理想の光景」なのであり、同時に人に見せるために提示されたオシャレな私の「世界観」なのである。

その為、多くのインスタグラムのシナ^Dンショでは、いいね！を増やす方法として、写真を一覧させて「写真集」のようにみせるべきだと提案している。たとえば、『暮らし』を撮る大人のインスタグラム^Dでは、「自分のプロフィール画面には、投稿した写真が、縦3列に並びます。写真集のように見られるのもインスタの特徴です。1枚1枚の写真をきれいに撮影することも重要ですが、統一したテーマで撮影したり、色を統一したり、撮影する対象を

決めたり、「寄り」や「引き」のバランスを大切にしたりして……といったことを意識することで、プロフィール画面の一覧がギャラリーになりとおしゃれ。ほかのユーザーの目をひくはずです。」とある (ORANGE PAGE MOOK 2016: 86)。

インスタグラムは、いっけん新奇なモノや出来事を報告しているようにみえるが、実は、イメージのインフレーションの中から選択されたものを反復しているのである。いわば、集合的記憶の中から選び取られたイメージを、丁寧に再現したのがインスタグラムなのである。

インスタグラムの写真に、ある種の既視感が感覚されるのはそのためだ。奇妙な言い方かもしれないが、撮影されるのは新しい風景ではなく、ノスタルジックな風景の VI なのである。報道写真が私たちを出来事の瞬間に立ち合わせようとするのに対して、インスタグラムの写真は、私たちが記憶の中へと送りかえていくのだ。

JTBパブリッシングから出版された『KYOTO genic 写真から見つける、ステキな京都』(2016年)は、デジタル時代の写真実践として興味深い事例を提示した。

この本は、インスタグラムの写真から旅の行き先を選ぶという、いささか旅行ガイドらしからぬ編集内容となっている。旅先で何かを発見するのではなく、誰かによって発見された「インスタ映え」風景を道案内役にして、生身の身体を素材として利用し、雑誌で見た風景と同じような写真を撮るといって旅行が提案されているのだ。まるで穴の空いた観光地の看板に顔をほめるように、この本の情報は読者に利用される。

ここでの旅行の目的は、新しい風景に出会うことでも、旅先の名物を食べることもない。インスタ映えした写真を撮ることによって、より多くの「いいね!」とフォロワー数を獲得することが目的なのである。

本の情報を見ることによって旅行者(つまりインスタグラム用の写真を撮る者)には、完璧なイメージが脳裏に描かれる。旅先では、そのイメージに重なるように物や人を配置し、アングルやトーンを探っていけば良いのだ。もはや風景はフォトスタジオの壁紙のような役割でしかない。壁面に描かれた風景や文字を背景にして、インスタ映えする構図がつくられることもある。まさしくデジタル時代のピクチャレスクが「インスタ映え」だといえるだろう。

こうしたインスタグラムの写真には、経験の奥行き、写真にあらわれる時間の奥行きが、欠落する。写真に内在する時間の奥行きや出来事の因果関係は重要ではない。四角いフレームに事物が美しくレイアウトされれば満足なのである。

⁹ 自撮りは、写真表現史に照らし合わせれば、ジャンルとしては「ポートレイト(肖像写真)」に含まれる。また、日常生活の一部分を撮影する行為からして、それはいわゆる「スナップ写真」という写真実践に類似する。

写真実践において最も頻繁に行われているポートレイトとスナップ写真であるが、実はこれほど誤解されているものはない。事実をありのままに写すドキュメンタリー写真とは違って、「ポートレイト」という言葉のルーツがエトルリア語に起源をもつ「ペルソナ」であることから分かるように、ポート

レイトにはもともと「仮面」といった意味が含まれている。つまりポर्टレイト写真に映っているものは、その人の内面ではなく表面＝仮面なのである。「自画像」を意味するセルフ・ポर्टレイトは、日常生活のスナップ写真的行為のように思えるが、自分の外の世界を撮影するスナップ写真とは異なり、自分自身が被写体であるという点において、それは「私がそれを見た」という記憶の代理ではなく、「私はここにいる」という存在証明的な意味合いとなる。

では、通常のポर्टレイトと自撮りの共通点は何だろうか。どちらも、それは「顔」「ポーズ」「アングル」「服装」などの要素から成り立っている。とりわけ顔は表情とともにあり、意味を作り出す要因であるために、最も重要な要素だと考えられている。顔は操作された表面であるにも関わらず、美醜の判断だけでなく、感情や性格といったその人物の内面の評価にさえ影響を与える。容貌と性格には因果関係があると人は信じている。

その意味で顔は常に誰かに読まれる宿命にある。だからポर्टレイトにおいて、どのように見られたいか、あるいはどのように見せたいかによって、顔が造り変えられ、最良のアングルがモサク^Eされるのは、その影響力から考えれば、しごく当然のことなのである。

顔は写真に撮られることで内面から分離した事物となり、自己とは異なる「誰か」として現れる。人間の顔は表情のあらわれる「地」であり、表情は「図」なのだ。

また、現代社会において、仮面の役割を担うのは「化粧」であることは言うまでもない。メイクアップという言葉が象徴しているように、それは、素顔を土台にして作り上げられるものだ。しかし、化粧によって操作され、作り上げられた顔に意味や物語を招き寄せるのは、見る者、つまり顔を「読む者」である。清純そうであったり、セクシーであったり、滑稽であったりと、化粧は自在に顔の上に図説して見せ、顔を「読む者」に対して意味を提供しようとする。説明文のない静止したイメージであるポर्टレイトであれば、この効果はいっそう強調されることになるにちがいない。

（米澤泉・馬場伸彦『奥行きをなくした顔の時代』より。ただし出題の都合上、表現を一部改めた箇所がある）

問一 二重傍線部A～Eのカタカナを漢字で書いたときに、その漢字と同じ漢字をふくむものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

A ① フォントウな物言い

(1)

D ① ブッカシスウ

(4)

② 死没者ツイトウの式典

② シサに富む

③ あまりのことにソットウする

③ シテイアイ

④ ヨウイシュウトウ

④ スンシを渡す

⑤ キカイキンントウ

⑤ シュウシが合わない

B ① カゲンジョウウジョ

(2)

E ① なかなかのサクシだ

(5)

② ジョコウ運転

② ロープをケツサクする

③ ジジョドリヨク

③ サクイの跡

④ コウジョリヨウゾク

④ セツサク工具

⑤ ジョジュツトリック

⑤ 打者がサク越えを連発する

C ① コサンの社員

(3)

② 早々にタイサンする

③ サンカンガク連携

④ 大震災のサンカを被る

⑤ 障子のサン

問二 空欄A～Eに入れるのに最も適当なことを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

空欄A ① たとえば

E

③ したがって

④ それに反して

⑤ すると

空欄B ① つまり

② そのうえ

③ たとえば

④ それでも

⑤ なぜなら

空欄C ① もちろん

② ところが

③ すなわち

④ その一方で

⑤ したがって

空欄D ① それでも

② このように

③ そのため

④ あるいは

⑤ つまり

空欄E ① もちろん

② とすると

③ だから

④ しかも

⑤ むしろ

(10)

(9)

(8)

(7)

(6)

問三

空欄

I

Ⅴ

VI

に入れるのに最も適当なことを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

空欄Ⅰ

① 先進国

② 大家

③ 祖国

④ 発祥の地

⑤ 新天地

空欄Ⅱ

① 因習的な

② 独創的な

③ 擬似的な

④ 儀礼的な

⑤ 道義的な

空欄Ⅲ

① 絵に描いた餅の

② 轍を踏んだ

③ 一世を風靡した

空欄Ⅳ

① 判で押した

⑤ 持って回った

空欄Ⅴ

① 証

② 堅物

③ 曲者

④ 異端児

⑤ 型破り

空欄Ⅵ

① 諷刺

② 偶像

③ 幻影

④ 贋作

⑤ 複製

問四

傍線部1「主眼を置いた」、傍線部2「仄めかす」、傍線部4「テイスト」、傍線部6「自前の」、傍線部7「コンテンツ」、傍線部8「ノスタルジックな」の本文中の意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

傍線部1

① 焦点化した

② 限定した

③ 適合した

④ 拘泥した

⑤ 注目した

傍線部2

① 謎をかける

② なんとなく匂わせる

③ 皮肉る

④ 当てこする

⑤ 見栄を張る

傍線部4

① 嗜好

② 着眼

③ 感覚

④ 志向

⑤ 動機

傍線部6

① 自分専用の

② 自分なりに考えた

③ 自分で探し出してきた

傍線部7

① 媒体

② 縮図

③ 内容

④ 商材

⑤ 作品

傍線部8

① 中世風の

② 異国情緒漂う

③ 懐かしさを誘う

④ 田舎くさく、のどかな

⑤ 感傷を呼び起こす

(22)

(21)

(20)

(19)

(18)

(17)

(16)

(15)

(14)

(13)

(12)

(11)

問五 傍線部3「行為において個人的であるが、動機においては社会的なのである」とあるが、筆者は、「自撮り」のどのような点について、「社会的」であると述べているか。その説明として適当ではないものを、次の①～⑤の中から二つ選びなさい。

(23)

(24)

- ① 見知らぬ他者の閲覧や評価は想定せず、インターネットで自分を見てもらうためにアップし、自己顕示欲を満たすための写真行為である点。
- ② ネットワークのなかで、写真の映し出すイメージを通して、間接的で、視覚を重視した関係を結ぶようなコミュニケーションにも関心が向いている点。
- ③ あるがままの姿ではなく、閲覧者が望むような、「完璧なイメージ」を先取りして、それに合わせて図説的に表現する傾向が見られる点。
- ④ 写真をアップする者は、「いいねー」のような賛辞を得るために、賞賛されやすい画像、あるいはすでに賞賛されている画像を真似ようとしている点。

問六 傍線部5「インスタグラムにアップされる写真は、……出来事を『デザイン』した演出写真である」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

(25)

- ① 現実の出来事をそのまま撮ったのではなく、あらかじめ広告写真のような理想的な光景をイメージしたうえで、インテリアの配置を変えたり、様々な小道具を用意したりして、イメージした光景を完璧に再現した写真であるということ。
- ② 現実の出来事をそのまま撮ったのではなく、広告写真で見た高級レストランで料理の写真を撮ったり、ホテルのインテリアを背景に自分撮ったりして、日常とは異なるオシャレな雰囲気を出すよう作り上げた写真であるということ。
- ③ 現実の出来事をそのまま撮ったのではなく、写り込むもののレイアウトを変えたり、撮影のためだけに様々な小道具を用意したりして撮影し、さらに画像を加工して、広告写真のような理想的な光景に作り上げた写真であるということ。
- ④ 現実の出来事をそのまま撮ったのではなく、雑誌や広告写真から得たイメージに合わせて、理想的な写真が撮れる場所を探し出し、わざわざ小道具を用意してその場所まで赴いて撮影し、最後の仕上げとしてアプリで加工した写真であるということ。
- ⑤ 現実の出来事をそのまま撮ったのではなく、広告写真のような理想的で完璧なイメージを再現するべく、写り込むもののレイアウトを変え、様々な小道具を持ち込んで、何度も納得がいくまで撮影し直し、最後にアプリで画像を加工した写真であるということ。

問七 傍線部9「自撮りは、写真表現史に照らし合わせれば、ジャンルとしては『ポर्टレイト（肖像写真）』に含まれる」とあるが、筆者は、「ポर्टレイト」についてどのようなことを述べているか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

(26)

① ポートレイトは、「仮面」という意味を含んではいるが、写真に撮られた人物の感情や性格といった内面は、顔に直接表れるので、写真に映った顔を見る者は、その人物の内面をありのままに読みとることができる。

② ポートレイトは、写真に撮られた人物の感情や性格といった内面ではなく「仮面」を映すもので、特に顔の表情は、写真を見る者にどのような意味を提供したかに合わせ、撮り方の工夫や化粧などで作り上げられている。

③ ポートレイトは、写真に撮られた人物の「仮面」を映すものであり、感情や性格といった内面をそのまま映すものではないので、写真を見る者は、顔の表情を「読む」ことで、勝手にその人物の内面を評価するべきではない。

④ ポートレイトは、写真に撮られた人物の顔を映してはいるが、それは表情を操作して作り上げられた顔、すなわち「仮面」なので、その写真を見る者は、写真に映った本人とは異なる「誰か」を見ることができない。

⑤ ポートレイトは、写真に撮られた人物の「仮面」を映し、写真を見る者は、その仮面を通してその人物の内面を評価するので、自己と異なる理想的な「誰か」になれるよう化粧などで表情を作り上げる必要がある。

II

次の問いに答えなさい。(四〇点)

問一

A 〱 C の傍線部と同じ漢字を使うものを、次の各群の ① 〱 ⑤ の中からそれぞれ一つ選びなさい。

A 残りわずか

① キンサで負ける

② カモクな性格

③ キシヨウカチ

④ ビリヨウの薬物

⑤ 生活がキュウボウする

B 罪をつぐなう

① 屋根のシュウゼン

② セイコウホウシユウ

③ サイシユウベンロン

④ ゲンカシヨウキヤク

⑤ コクサイを発行する

C うるわしい姿

① イロウなく務める

② ジュンカツユ

③ ビジレイク

④ ユウゲンの世界

⑤ ヨウエンな役者

問二

A 〱 C の熟語の読みとして適当なものを、次の各群の ① 〱 ④ の中からそれぞれ一つ選びなさい。

A 如才

① ダサイ

② ニヨサイ

③ ジョサイ

④ ショザイ

B 更迭

① ソウシツ

② サテツ

③ コウシツ

④ コウテツ

C 敷設

① フセツ

② シセツ

③ ソウセツ

④ セツセツ

問三

A 〱 C の語の組み合わせと、ア 〱 ウの語の組み合わせの意味的關係が最も近くなるように、

① 〱 ④ の中からそれぞれ一つ選びなさい。

A 起工―竣工しゅん

ア 高騰―

① 廉価

② 下降

③ 好転

④ 低落

B 前途―将来

イ 苦境―

① 困難

② 難局

③ 快楽

④ 愉悦

C 休む―欠席

ウ 返す―

① 完済

② 支給

③ 謝礼

④ 授与

に入れるのに最も適当な言葉を、次の各群の

(35)

(34)

(33)

(32)

(31)

(30)

(29)

(28)

(27)

問四

A、Cの□に入れるのに、最も適当な言葉を、①～④の中から、それぞれ一つ選びなさい。

A 軽口を□

- ① ほざく ② 滑らす ③ 叩く^{たた} ④ 回す

(36)

B 青写真を□

- ① 描く ② 撮る ③ 映す ④ 塗る

(37)

C 鬼籍に□

- ① なる ② 入る ③ 達する ④ 返る

(38)

問五

A、Cの慣用表現の意味の説明として最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

A 外連み^{けれん}がない

- ① 自分の言動を恥じる様子がない。 ② はったりやごまかしがない。 ③ 何も包み隠していない。
④ まったく悪びれることがない。 ⑤ 特別なところがなく普通である。

(39)

B 煙幕を張る

- ① 失敗したことをごまかすために、他の話題を持ち出す。
② 何をしているか分からないように、物陰に隠れる。
③ 敵か味方が区別できないように、姿を似せる。
④ 物語で次の場面に移るために、きっかけをつくる。
⑤ 本当の意図を隠すために、他の言動でごまかそうとする。

(40)

C 音頭を取る

- ① 一人の行動を、その場にいる全員で真似る。 ② 他の人に調子を合わせて協力する。 ③ 威勢のよい言葉をかけて、奮い立たせる。
④ 物事の進み具合を確かめる。 ⑤ 物事を進めるために、先に立って行動する。

(41)

問六 例文A～Cの傍線部と意味用法が最も近いものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

例文A 上司の顔色をみる。

- | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|
| ① 相手の反応をみる。 | ② 指をつけて湯加減をみる。 | ③ 余裕をみて期限を設定する。 |
| ④ 一人だけいい目をみる。 | ⑤ 祖母が子どもの面倒をみる。 | |

(42)

例文B 運動の苦手な生徒が増えた。

- | | | |
|--------------------------|-----------------------|----------------|
| ① この子は熱があるの <u>だろう</u> 。 | ② 安芸の <u>宮島を訪れる</u> 。 | ③ 料理の得意な学生を探す。 |
| ④ すぐに帰社しろとの指示だ。 | ⑤ もう少し大きいのがほしい。 | |

(43)

例文C 後にもさきにもない。

- | | | |
|--------------------|-----------------------|---------------------|
| ① 目と鼻の <u>さき</u> 。 | ② 話の <u>さき</u> が読めない。 | ③ 転ばぬ <u>さき</u> の杖。 |
| ④ 取引 <u>さき</u> 。 | ⑤ お <u>さき</u> 真っ暗。 | |

(44)

問七 A、Bの文の□に入る敬語として最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つ選びなさい。

A 先生は、明日何時に□。

- | | | |
|------------|---------------|-------------|
| ① うかがわれますか | ② 参っておられますか | ③ いらっしゃいますか |
| ④ お越しできますか | ⑤ おうかがいになりますか | |

(45)

B お客様には、私が□。

- | | | |
|-------------|---------------|------------|
| ① 御説明くださいます | ② 御説明してくださいます | ③ 御説明になります |
| ④ 御説明なさいます | ⑤ 御説明いたします | |

(46)

ご注意

1. 本書の一部あるいは全部について，発行者の許可を得ずに，無断で複写・転写することは禁じられています。
2. 本書の内容に誤り・誤字脱字などございましたら，ご連絡いただけると幸いです。

2025/6/1

発行・制作:広島国際大学入試センター

連絡先:739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台555-36

TEL: 0823-70-4500 FAX: 0823-70-4518

Mail: HIU.Nyushi@josho.ac.jp

URL: <https://www.hirokoku-u.ac.jp/>

Copyright © 2025 Hiroshima International University, All rights reserved.
